

園だより



令和3年11月1日

社会福祉法人新田保育園

園長 野村 陽子

『想像する力が未来をつくる』

けやきの葉色が変わり始め、秋の訪れを目に見えて感じるようになってきました。保育園の給食メニューにも、栗・さつまいも・きのこ・柿・りんごと、秋の食材が並びます。

さて、先日足立区で震度5.5強の地震がありました。震度5強以上の地震が関東で観測されたのは、東日本大震災以来だそうです。地震発生時は夜ということもあり、朝起きた子どもが「寝てて、頭隠すの忘れてた！」と言っていたとの報告に、避難訓練の成果を感じました。

避難訓練は、毎月行なっています。災害対策委員の職員を中心に訓練の計画を立てます。10月の避難訓練は、散歩先での地震訓練。そして地震後に担任職員が怪我（腕を骨折）をするということも計画されていました。骨折時の応急処置の方法が適切かという点も看護師が確認します。0・1歳児の担任は、子どもの安全を守るため、散歩車を置いて帰ってきたり、事務所に応援を頼んだりしました。2歳児は、怪我をした職員の腕をなで「病院いく？」「守ってあげる」と言っていました。3歳児は「先生どうしたの？」と聞くので「地震で・・・」と話そうとすると「あっ、この間エレベーターが止まったよね」と前回の体験を思い出して話が盛り上がります。4歳児は、担任の怪我が心配で、訓練だったことを知ると、「よかった先生、もとに戻った」と安心していました。5歳児は、帰ってきて「もしかしたら先生が2人とも怪我をするかもしれない」という話しになりました。「そしたら、子どもたちみんなで、スクラム組んで先生を運ぶよ」「でもどうやって帰るか、道がわからない」「事務所の先生に電話する」「先生に携帯のやり方教えてもらう」と意見がどんどん出てきます。

10年前の東日本大震災の際は、新田保育園から被災した保育園に保育士を派遣しました。今も被災地域と共催でチャリティー研修会などを行なっています。その時に話された「人間が生きていく上で大切なことは、想像する力です。想像する力があれば自分の身を守ることも、相手を思うこともできます。辛い状況を軽減したり、回避方法を考える基盤になります」の言葉が忘れられません。災害は予想できませんが、備えとあらゆる災害を想定し、対策できるようにしていきたいです。11月は、津波を想定し高い建物に避難する訓練を予定しています。乳児の子どもたちをおんぶして4階まで上がります。体力も必要ですね。

濱本昌子



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
11月	健康体育（3・4・5歳児）			咳エチケットの話（5歳児）	避難訓練（津波）					クラスごとに冬まつり集会	咳エチケットの話（4歳児）	誕生会・写真の日・咳エチケットの話（3歳児）				第1回冬まつり総練習	健診（0・5歳児）									就学前健診（5歳児）	第2回冬まつり総練習				

*11月の誕生日会は、園庭で『やきいも大会』をします。

*12月4日（土）の冬まつり（生活発表会）は、日程通り行なう予定です。

感染予防対策として鑑賞は、クラスごと入れ替え制で、1家庭2名までとします。よろしくお願いします。